60鷹 新大竹物語 輝く人⑨



「輝く人」とは、夢のため、人のため、地域のため、一つのことに打ち込んで頑張っている人。それぞれ目的は違えど、その活動は、より良いまちづくりへとつながっています。「輝く人」の輝きを多くの方に知ってもらいたい、その思いが「輝く人」シリーズの原点です。

商店街にしていきたい人が集まり、愛される



大竹駅前商店街振興組合 代表理事 田宮 裕朗 さん (62歳 白石2)

にしていてください。 ります。約50年続く、伝統あるイベ トの開催を予定しています。楽しみ ことのないようこれからも盛り上げ という声があがり、土曜夜市は多く 市民の方から「やめないでほしい」 通りが少なくなり、やめる意見が出 回行われていましたが、商店街の人 を片手に手作りのゲームなどで楽し イベントの一つに「土曜夜市」があ ていきたいと思います。 と実感しました。土曜夜市を絶やす の方に愛されているイベントなんだ た時期もありました。そんなとき、 んでくれています。以前は8月に3 くださり、子どもたちがお楽しみ券 ントです。毎年約3千人の方が来て 10月には、 商店街を盛り上げるための大きな 商店街で新たなイベン

おり、以前に比べてとても明るくなっまり、以前に依になると薄暗かった商店で、集まり、愛される商店街を目指して、います。最近、夜の商店街を通っています。最近、夜の商店街を目指して、集まり、愛される商店街を目指して、集まり、愛される商店街を目指して、場まり、愛される商店街を目指して、事まり、愛される商店街を開かった商店であると薄暗かった商店である。現在は外灯のLED化を進めています。最近、次が大竹駅前商店街振興組合代表の、以前に比べてとても明るくなった。

ていますよ。